

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 895 号	氏名	岡部 拓大
学位審査委員	主査	尾崎 誠	
	副査	前田 隆浩	
	副査	東 登志夫	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、中年（40～64 歳）および高齢（65 歳以上）女性における、ADL 障害発生の危険因子を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 地域在住 40 歳以上女性のうち、ベースライン時に日常生活動作（ADL）障害を有さず、追跡時質問紙調査に回答した 264 名を対象に、平均 9.1 年後の ADL 障害発生の危険因子を縦断的に調査し、種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、中年者では低い握力と疼痛が、高齢者では遅い努力歩行速度と合併症、疼痛が、ADL 障害発生リスクに有意に影響したことを明らかにし、今後の公衆衛生学的研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は公衆衛生学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			